

令和5年度第1回学校運営協議会 議事録

○日時：令和5年6月27日（火） 15：00～16：00

○場所：三刀屋高校掛合分校 図書館

○出席者：学校運営協議会委員 5名（※50音順による 敬称略）

飯塚 真(掛合分校同窓会長), 小川 真里(掛合町文化協会事務局), 白築 敏彦(掛合自治振興会事務局長), 芝原 大助(掛合分校PTA会長), 難波 順子(雲南市立掛合中学校長)
学校関係 2名

本間 達也(三刀屋高等学校長), 伊藤 尚子(三刀屋高等学校掛合分校副校長)

○次第および協議内容等(概要)

- (1) 委嘱状交付および役員選出 → 会長：小川委員 副会長：芝原委員
- (2) 学校経営方針等について → 校長から説明後承認
- (3) 学校現況報告 → 副校長より説明
- (4) 意見聴取

○意見交換等で出た主な意見等(概要)

- ・探究学習が2年から3年へ継続的な取り組みができるようにしてもらったことはよいこと。是非全学年で継続的にできるような取り組みをしていただけたらよい。
- ・近年「掛合分校に入りたい」と言って入学してくる生徒が多くなったと感じる。地域の受け皿となっている分校の良さを引き続きアピールして行ってほしい。
- ・求める生徒像が中学生にわかりやすくなったのもよい。
- ・今年度は創立70周年の年に当たる記念の年。秋には記念行事等も控えている関係でまたいろいろとよろしく願いたい。
- ・今年度の合い言葉「向き合う。その先に…」という言葉に、この70周年を機に原点回帰という視点もありかと思う。沿革の最初を見ると「農業科家庭科」でスタートしている。近年のお米に関する学習なども含めこのあたりが特色ある学校づくりにつながっていくと考える。
- ・奥出雲の保護者からも掛合分校は雰囲気の良い学校だと聞くことがあった
- ・掛合の町は昔から林業が盛んであった。林業界も働き方改革などがすすみ、働きやすい職場となっている。ドローンの操縦や事務職などもある。是非就職の選択肢になってくれるといい。
- ・林業に関する学習は中学校でも様々な取り組みがある。
- ・掛合分校は「手厚い指導」「学び直し」などを昔からよく聞いていたが、最近では地域密着の学習がすすみ、さらに魅力が増してきているように感じる。掛合太鼓への取り組みをしてもらったのはよかった。いろいろなことを含め中高の連携が進むとよい。